

2021年4月10日

相生山緑地に関する質問

2021年名古屋市長選挙立候補予定者

相生山の自然を守る会

代表 近藤 国夫

info@aioiyama.org/<http://aioiyama.org>

相生山緑地を考える市民の会

共同代表 外波山 節子

福井 清

info@aioiyama.info/<http://aioiyama.info>

コロナ禍の2021年名古屋市長選挙となりました。私たち「相生山の自然を守る会」と「相生山緑地を考える市民の会」は市長選挙に立候補を予定されている方々に相生山緑地に関する下記の質問をいたします。4月17日までにご回答をお願い申し上げます。

尚、回答はホームページに掲載いたします。

記

1. 相生山緑地を横切る都市計画道路「市道弥富相生山線」が2014年12月に河村市長によって「廃止表明」されました。これは「市民による住民意向調査」（市道弥富相生山線を考える市民の会）の調査結果に示されている70%以上が道路ではなく「緑地」を選んだ名古屋市民の意向に沿ったものでした。以後、「世界のAIOIYAMAプロジェクト検討会議」にて廃止作業・整備計画を進めているとしていますが、7年経過した現在も正式に廃止されていません。早急に都計審で廃止決定し、その後相生山緑地全体としての整備計画が市民との協働で進められることが順当であると考えますがお考えをお聞かせください。
2. 地球気候変動の具体的な対策が求められている今、SDGs未来都市に選定された名古屋市においても「環境基本計画」をはじめ、「低炭素都市2050なごや戦略」・「生物多様性2050なごや戦略」・「水の環復活2050なごや戦略」などが策定されています。相生山緑地は生物多様性・生態系の観点からも道路や施設で分断されることなく、一塊として守られることがそれに適うものと考えますが、お考えをお聞かせください。

以上